

受付番号： 2017-1-680

課題名：4π 放射線治療の有効性の検討

1. 研究の対象

2011年5月～2016年5月に当院で頭頸部、胸部、腹部、骨盤部への放射線治療を受けた方

2. 研究目的・方法・研究期間

放射線治療の新たな照射法として4π治療が研究され始めている。この治療法は、従来の同一平面からの照射に対して非同平面からの照射を効率よく多門で照射することで従来の放射線治療装置で実現不可能であった優れた治療計画(腫瘍への高い線量集中制と危険臓器への大幅な線量低下)が実現できると考えられる。そこで今回は、これまでに通常の放射線治療で治療した症例を用いて、4π治療で治療計画を作成し、その線量分布の違いを明らかにすることで4π治療の線量分布から見た有効性を検討する。

今回使用するデータは、すべて一連の放射線治療プロセスで使用されるデータであり追加の検査はない。研究期間は、2016年6月～2020年6月である。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：放射線治療計画用CT画像，放射線治療線量分布等

4. 外部への試料・情報の提供

該当なし

5. 研究組織

本学単独研究

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先：

東北大学病院放射線治療科 助教 角谷 倫之（研究責任者）

〒981-5874 宮城県仙台市青葉区星陵町 1-1

TEL:022-717-7312 FAX：022-171-7316

◆個人情報の利用目的の通知に関する問い合わせ先

保有個人情報の利用目的の通知に関するお問い合わせ先：「6. お問い合わせ先」

※注意事項

以下に該当する場合にはお応えできないことがあります。

＜人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 第6章第16の1(3)＞

- ①利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、当該研究機関の権利又は正当な利益を害するおそれがある場合

◆個人情報の開示等に関する手続

本学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。

保有個人情報とは、本学の役員又は職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。

- 1) 診療情報に関する保有個人情報については、東北大学病院事務部医事課が相談窓口となります。詳しくは、下記ホームページ「配布物 患者さまの個人情報に関するお知らせ」をご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学病院個人情報保護方針】

<http://www.hosp.tohoku.ac.jp/privacy.html>

- 2) 1)以外の保有する個人情報については、所定の請求用紙に必要事項を記入し情報公開室受付窓口へ提出するか又は郵送願います。詳しくは請求手続きのホームページをご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学情報公開室】

<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kokai/disclosure/index.html>

※注意事項

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

＜人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 第6章第16の2(1)＞

- ①研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②研究機関の研究業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③法令に違反することとなる場合